



2018
Hyogo

第57回 (2018) 全国保育問題研究会
兵庫集会実行委員会
ニュース No.1

2017年10月発行

あつち
ええやん

メインテーマ

学び合おう、いのちある みんなが、
しあわせになるために

サブテーマ

- ①友達の中で育ち合い、子ども一人ひとりが大切にされる保育実践について学びを深めよう。
- ②みんながしあわせに働き続けられる職場づくりのために、保育に携わる大人同士が語り合い、繋がり合おう。
- ③貧困や格差のない、持続可能な社会づくりに向かって、世代を超えて手をつなごう。
- ④保問研80年の歴史に学び、未来につなげよう。

兵庫集会日程・場所

2018年6月1日(金) / 2日(土) / 3日(日)

6月1日(金)

神戸芸術劇場

13:00 ~ 18:30

6月2日(土)

兵庫大学・短期大学部

9:15 ~ 18:30

6月3日(日)

兵庫大学・短期大学部

9:15 ~ 12:30

ご挨拶

みんながしあわせになるために

兵庫保問研は、昨年11月に第54回兵庫集会の実行委員会準備会を開催し、今年の1月正式に実行委員会を発足させました。運営委員の世代交代と阪神間に偏りがちな会員を、兵庫県全域に広げることが課題として取り組んでいます。実行委員長は、30歳代の黒澤祐介さん(大阪青山大学)、事務局長は60歳代の徳永(兵庫保問研)となり、世代交代に向けた任務配置としました。第一回実行委員会では、保育問題研究会80余年の歴史について宍戸健夫氏をお招きして、保問研の活動への思いを共有しました。集会のメインテーマは、「学びあおう、いのちあるみんなが、しあわせになるために」としました。誰もが「しあわせ」になるために、みんなで考え、深め、行動につながる集会になれば良いと考えています。10月現在、実行委員会は7回の開催となりました。回を重ねるごとに実行委員は増え、現在、若い保育者を含めて50余名となっています。兵庫県は南北に長く、近畿地方の府県で最大の面積の県です。また、2つの海に接しており、本州を陸路で横断しようとするれば、必ず兵庫県を通ることになります。このようななかで、保問研の活動は阪神間が中心となっています。しかし、集会の取り組みをきっかけに、実行委員会には西の加古川市などからの参加を得て、広がりを見せています。集会2日目からの会場は、西に位置する兵庫大学短期大学部で開催します。また、宿泊は世界遺産のある姫路を中心に準備中です。さて、実行委員会では兵庫らしい集会にしたいと、記念講演には、宝塚ゆかりの漫画家、手塚治虫関連の講師を依頼中です。特別講座は、保育、福祉、政治、文化など、県内はもちろん全国でも活躍されている講師を中心に企画を進めています。歓迎行事は、兵庫保問研が長年大切にしてきた「劇づくり」を全国のみなさんにご披露したく、熊本保問研の協力も得て、保育者が演じる劇を観てもらおうと準備中です。兵庫県は、21年前に阪神淡路大震災に見舞われました。その後東日本大震災、熊本大震災と続いています。水害など災害大国日本のなかで、私たちはどうしあわせに生きていくのか? そんなことをテーマに取り組んでいきます。兵庫保問研は小さな保問研ですが、全国の皆さんが来て良かったという集会にしようと、熱い思いを結集して取り組んでいます。

兵庫に来る人この指と〜まれ! 待っていま〜す!

第57回兵庫集会実行委員会事務局長 徳永満理



実行委員会 頑張ってます！



2017年1月の実行委員会立ち上げよりみんなで頑張ってます。初めは手さぐりだった担当も少しずつ軌道に乗ってきて、準備も仲間の絆も深まってきました。

学習会報告



7月15日(土)に「保育政策と保育実践を考える」として、大阪青山大学の田岡昌大さんから保育指針の改定についての学習会が行われました。第1回目の学習会という事もあり参加者は少なかったですが新指針(要領)のポイントや解釈などいろいろな面から学ぶことができました。参加者から新指針についての質問や意見なども沢山ありました。中でも中国からの留学生は「誰が指針を作っているのか?」「こういう学習があるのはとてもいいことだ」と話され、文化の違いや国の情勢を感じることができました。また、「育てほしい10の姿」や「国旗・国歌」については問題点もわかり、現場の若い職員にもどんどん参加してもらい、今の状況を踏まえながら新指針についてより深く学習していける場になればと思いました。

兵庫集会 歓迎行事

劇「阪神淡路大震災を越えて」～兵庫から熊本へ～

活動開始

2017年7月15日阪神淡路大震災を語る集いを開催！

昨年にとった地震で大きな被害を受けた熊本で再来年度集会在開催されます。また、兵庫でも震災を経験した事から、大震災が繋ぐ集会への思いを歓迎行事の劇にするにあたって、脚本+劇指導をして下さる熊本やまなみ子ども園の山並啓さんを迎え、阪神淡路大震災時の様子を語り合いました。芦屋など多くの地域では、水やガスが止って、持ち寄り生活用品を補った。勤務先の保育所で9名の子が亡くなった。長田区ではマンションが半壊し、遺体置場になった保育所もあったなど、涙ながらに話される方もおられました。しかし、私自身は当時被害の少ない地域で、大変だと感じながら休校になった事を嬉しく感じた事を思い出しました。そして話し合い後は山並さんが手掛けた第43回熊本集会所での劇「わらしべ王子」の映像を鑑賞し、その質の高さに驚き、劇の完成が本当に楽しみになりました。



2代目あおぎり 兵庫に根を下ろす！

広島集会より受け継がれているあおぎり！6月の愛知集会後兵庫にやってきました。あおぎりはとても大きくなる木だそうです。今回のあおぎりも来年は移動が困難な為この度2代目が兵庫に根をおろしました。次回開催地加古川に近い高砂で、元気に育っています。被爆で死の土地になってしまった地から負けずに芽吹いたあおぎりの生きる力を兵庫にも平和への思いと共に受け継ぎたいと思います。



映画好きさん、 この指と～まれ！

at姫路



姫路市は歴史深い街です。昔ながらの町並みや、世界文化遺産や国指定重要文化財のある歴史的な建物があります。そんな姫路で撮影された映画はたくさんありますね！聖地巡礼してみませんか？



世界遺産姫路城

《姫路城》

大奥(2006)、憑神(2007)、椿三十郎(2007)、カムイ外伝(2009)、ルパンの奇巖城(2011)、天地明察(2012)
大奥～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇](2012)

《好古園》

TAJOMARU(2009)、るろうに剣心(2012)、大奥～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇](2012)、幕末高校生(2014)

《書写山園教寺》

ラストサムライ(2003)、源氏物語 千年の謎(2011)、天地明察(2012)、駆込み女と駆出し男(2015)、関ヶ原(2017)

《姫路城周辺》

ルパンの奇巖城(2011)、死にゆく妻との旅路(2011)、寄生獣(2015)



書写山園教寺常行堂

映画だけでなく、ドラマも多数撮影されています。大河ドラマ・黒田官兵衛は加古川でもロケが行われましたよ。ぜひ訪れてみてくださいね！